



# 人などによる選別が重要 既存の施設を活用し対応

●加藤商事(株)

DATA 所在地 東京都東村山市  
代表 加藤宣行  
(2023年5月1日)

加藤商事は現在、

4市の容器包装プラスチックなどを受け入れ、再商品化している。プラスチック資源循環法(以下、プラ新法)の施行を受け、既存の施設を活用する方向で対応する方針だ。一方、容器包装プラスチックと製品プラスチックとの一括回収でも、リチウムイオン電池などの異物の混入が想定され、引き続き、人や機械による選別の重要性を強調した。

## 資源化可能なものにするため 人の手で 異物を取り除いていく

同社のリサイクル施設「エコ工場フェニックス」の稼働は2004年。容器包装プラスチックリサイクルラインとPETボトルリサイクルラインの二つで構成。

処理能力は第一工場が32t/日、4t/時(その他プラスチック製容器包装)、4・8t/日、0・3t/時(PETボトル)。処理対象はその他プラスチック製容器包装、PETボトル。次いで第二工場が32t/日、4t/時(その



圧縮梱包された容器包装プラスチック

他プラスチック製容器包装)。処理対象はその他プラスチック製容器包装となっている。受け入れてるのは具体例として、家庭から出るボトル類やトレイ類、透明なプラスチック容器、PETボトルのキャップ、袋類、ネット類、緩衝材類とPETボトルなどだ。現在、すべて容器包装リサイクル協会ルートで再商品化している。受け入れから再商品化までの流れは大きく二つ。一つ目が、搬入されたごみ袋から異物を取り除く選別作業である。資源化可能なものにするため、人の手で一つずつ異物を取り除いていく。二つ目が機械のメンテナンス・清掃作業である。機械の故障

を未然に防ぐとともに、いつ誰が見学に来てもいいよう、随時清掃を行っている。回収された容器包装プラスチックはトラックスケールで重量を計量。この時、回収した市町村ごとに管理し、他の市と混ざらないな

いようにしなければならぬ。重量計量後、搬入ホッパーに入れ、随時コンベアで搬送。その後、破袋機を通し、異物の選別作業へ。破袋機では破れなかった袋を、小袋破袋機に入れる。判断基準は、プラマークという。

## 質のいいプラスチックを リサイクルするための お手伝いができる

プラ新法施行後、いまのところ、同社の事業に大きな影響はないという。

「一括回収をいつ始めるか、大臣



加藤商事(株)エコ工場フェニックス



資源化に向かない残さは処分する

認定を取得するかどうかも含めて、自治体の判断次第です。当社としてはそれを待つほかありません。一方で既存の施設をいかして対応していこうとも考えており、処理能力の増強も検討中です(同社担当者)

新法施行後、懸念されるのが異物の混入である。ただでさえ搬入されたごみの中に、容器包装プラスチック以外の異物や危険物が混入しているのが現状だ。「(選別ラインには)一度に大量のごみが流れてきますので、集中力、判断能力、そして体力が求められます。また、プラスチックのようで紙だったりすることもあり、ある程度の経験が必要で、気を抜くと流れていくので、異物を見極めるスピードが求められます(同社担当者)」

減が難しい。「大臣認定を取得することを選択したとしても、洗浄や選別の重要性は変わりません。異物の混入や汚れをなくすことは難しいでしょう。質のいいプラスチックを大量に集めるのであれば、私ども選別のプロの力が必要ははず。質のいいプラスチックを回収、リサイクルするためのお手伝いができると思います(同社担当者) W (本誌・加藤)



現在の容器包装プラスチックの中にはこうしたリチウムイオン電池入りの製品が混入している。選別時に取り除かなければ、火災の原因ともなり、大きな課題となっている。今後、製品プラを受け入れると、さらなる混入が予想される。そのため効率よく正確に選別できる装置をラインに設置する計画を進めているという

# 緊急

令和5年2月24日

加藤商事株式会社

042-392-1001

## 収集運搬業者様へのお願い

容器包装プラスチックの回収品にリチウムイオン電池の混入が非常に多く、それによる火災が全国の処理施設で確認されております。

回収時に於いて、一目で異物がわかる袋の確認が出来た場合は**警告違反シールを貼って頂くか、別積み後工場作業員に手渡しして頂くよう**お願い致します。また、持ってみて重かったり違和感を覚えたら中身の確認もしくは別積みをして頂けるよう、収集業務でお忙しい中大変恐縮ではありますが、何卒ご協力を宜しくお願い致します。

リチウムイオン電池、モバイルバッテリー等



ゲームのコントローラー



携帯電話



# 刃物



# コード類





